

▶ 第31回目となる今回は、サンテクノカレッジ マルチメディア科 2年 中澤朱里さんが、株式会社サニカ 代表取締役社長 林憲正氏を取材しました。



学生

サンテクノカレッジ
マルチメディア科

2年 中澤 朱里 さん

“本当は大切”な “当たり前のこと”

経営者

株式会社 サニカ
代表取締役社長

林 憲正 氏



▶ **学生** 会社概要と事業内容についてお聞かせください。

▶ **経営者**

弊社は㈱三協精機製作所(現㈱日本電産サンキョー)より分離独立し、昭和62年に㈱サンニスカとして設立されました。当初はSONYなどのオーディオ用精密機器の製造を行う会社でしたが、平成4年に駐車場機器開発を始め、平成11年に自社ブランドとして駐車場機器製造販売を開始しました。

弊社の主要製品は無人コインパーキングの機械で、ゲート開閉の自動化や電話回線を使用した遠隔管理による料金やトラブル対応が可能なシステムです。弊社は駐車場機器関連が売上の90%を占めますが、他にも医療・健康・美容分野の製品も手がけています。現在の社名は平成15年に市町村合併と同時に㈱サンニスカから改称したものです。

▶ **学生** 御社が社員に期待することは何ですか。

▶ **経営者**

「元気で明るく物事に取り組んでいく姿勢」です。誰もが最初は初心者です。それを、自ら学んでいく姿勢が大切だと思っています。また、当たり前のことですが「5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)」と「ホウレンソウ(報告、連絡、相談)」を常に心がけていることです。

弊社の会社規模は業界では決して大きいわけではありませんが、それでも大きなシェアを維持できる理由は品質

の高さにあります。電話回線を使い遠隔管理システムで無人駐車場の全ての管理を行うことができます。基本的には無人管理ですが、緊急時には人が対応することがあります。しかしそれ以前に、品質の高い製品を作るために、「絶対に壊れない・絶対に誤動作しない」ことを前提に製品づくりを行っています。この当たり前のことを常に心がけることが必要です。

▶ **学生** 業界の動向についてお聞かせください。

▶ **経営者**

現在のコインパーキング業界の市場は、飽和状態にあります。しかし、車の数は年々増加していますし、オリンピックの東京開催も決定したこともあり、都市部でのコインパーキングの需要は今後も増加すると思います。更に、遠隔操作システムを利用した無人駐車場は、大学、病院、

銀行、図書館や市役所など、コイン駐車場経営を行っていない会社にも使用されてきています。今後もこのシステムの需要は更に増えていくと期待しています。

▶ **学生** 今の学生に足りないものについてお聞かせください。

▶ **経営者**

足りないということではありませんが、「やる気」を持ち、「元気」であることが重要です。新入社員が技術を身に付けるためには、自ら学ぶ「やる気」が大切です。入社試験で数値化できる学力で判断することは簡単ですが、短い面接時間で人間性を測ることは難しいものです。そこで面接の際には、会社に入ってからどれだけ頑張れるかを私たちは見えています。元気な学生はやる気を感じられ、私たちにとってはとても好印象です。

取材を終えて…

甲府中心部の駐車場に㈱サニカという名前をよく見ましたが、何をやっている会社なのか詳しくは知りませんでした。実際に経営者からお話を伺うことができ、会社のことだけではなく、業界のことも理解することができ、視野も広がりました。

私はITに興味があり、情報関係の専門学校に通っています。無人駐車場のネットワークを利用した遠隔管理システムのお話は大変興味深く、経営者の熱い想いを伺っていると、このシステムは、今後、様々な業界へと広がり急成長していくと感じました。

また、日本のものづくりの品質の重要性、5Sやホウレンソウといった当たり前のことの大切さ、元気で明るく物事に取り組んでいく姿勢の必要性を感じました。

現在就職活動中であり、来年からは新入社員として頑張る私たちにとって、明日からの就職活動に活かし実践していることがたくさんありました。ありがとうございました。

